

## 原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時：2023年1月12日(木) 13:30～14:00

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（順不同、敬称略）

所外：瓜谷 章（名古屋大学）、中村 浩之（東京工業大学）、渡辺 賢一（九州大学）、三浦 勉（産業技術総合研究所）、納富 昭弘（九州大学）、高橋 浩之（東京大学）、大場 洋次郎（日本原子力研究開発機構）、宮武 伸一（大阪医科薬科大学）、川端 信司（大阪医科薬科大学）、井川 和代（岡山大学）、益谷 美都子（長崎大学）、吉橋 幸子（名古屋大学）、太田 朋子（長岡技術科学大学）

所内：鈴木 実、櫻井 良憲、田中浩基、木野村 淳、高田 卓志、日野 正裕、高宮幸一、山村 朝雄（事務局）仲谷 麻希、

添付資料：

資料1 幹事会議事録（案）（2022年10月12日開催）

資料2 原子炉利用研究者グループ規約改定・修正・追記（案）

資料3 京都大学複合原子力科学研究所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せ修正（案）

資料4 原子炉利用研究者グループ令和4年決算報告書

資料5 原子炉利用研究者グループ令和5年予算（案）

資料6 2次選挙開票集計結果（後期選挙）

議題：

1. 前回幹事会議事録（案）確認
2. 令和4年度事業報告・会計報告
3. 令和5年度予算案
4. 新幹事紹介と役割分担について
5. その他

開会の挨拶の後、瓜谷代表幹事が司会進行を務め、以下の通り幹事会が実施された。

議題1 前回幹事会（2022年10月12日）議事録（鈴木幹事）

特に意見はなく承認された。

議題2 令和4年度事業報告・会計報告（田中幹事）

以前支出があった幹事会費用については、オンライン開催のため不要になり、支出は研究運営費（3000円/件）だけであったことが説明された。特に意見はなく承認された。

議題3 令和5年度予算案について（鈴木幹事）

特に意見はなく承認された。

議題4 新幹事紹介と役割分担について（櫻井幹事）

代表幹事、総務担当幹事に選考方法、上位から何名を選んだかなどの説明があった。特に意見はなく承認された。次期代表幹事に選ばれた井川幹事から挨拶があった。

議題 5-1 その他：残高の有効な利用方法について（櫻井幹事）

これまでに議論されたように、原子炉利用研究者グループとして持っている残金はできるだけ減らすことが望ましい。令和5年度予算案に従って、残金70万円のうち40万円に関して、共同利用支援のための物品購入として検討した結果について以下の候補が挙げられた。

- ・教育訓練用タブレット端末2台。ニーズが高いようであれば、追加購入。
- ・新研究棟の共用スペースに置く物品として、机、椅子、パーティション等。スペースが確定してから、サイズ・数量を決定。
- ・検討の進捗によって、自転車（深夜の移動手段）やPHS（共同利用者と所内担当者との連絡用）を購入。

総会で説明して承認を得るが、新たな提案があった場合は幹事会で承認する。今回の提案について、幹事会としては承認された。

議題 5-2 その他：総会の開催日程について（鈴木幹事）

今年度のKUR運転が2月最終週まで延びたことを勘案し、3月開催で日程調整する旨提案があり、承認された。

議題 5-3 その他：名誉会員の推薦について（鈴木幹事）

名誉会員の推薦手順に関する説明があった（以下①～④）。これに関して、幹事による承認をメール審議で行った上で総会にて決議を取る旨の提案があり、承認された。

- ①総会の開催案内時に名誉会員の推薦を呼びかけ、会員が幹事に推薦者連絡
- ②幹事による名誉会員の承認決議
- ③名誉会員候補に確認の連絡、内諾の打診を行う
- ④総会での決議

最後に瓜谷代表幹事から任期を終えるにあたっての挨拶があり、閉会となった。

以上